

講義名	臨床心理アセスメント		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	田中 隆志		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	22085

主題と概要

心理査定（アセスメント）は臨床場面の心理療法やカウンセリングを行う上で、不可欠なアイテムである。ここでは知能検査や人格検査などの技術的な体験に留まらず、それらの作成過程を体験することから、標準化の過程を理解し、それぞれが持つ意味について検証していく。

到達目標

知能検査や人格検査（質問紙法、作業検査法、投影法）の作成過程を体験し、実際に自らが検査者や被験者となり、技法を体験し、報告書の作成までを行う。被験者となることで、検査者として心がけなければならない心構えの理解を目指す。

提出課題

毎回終了後に、自らが体験した印象についてのレポートの提出を求める。

評価の基準

検査の実施や考察には極めて慎重な姿勢が求められることから、遅刻早退は認めない。出席状況、検査を体験する姿勢、随時提出を求めるレポートやレポート試験により評価を行う。レポート試験では、自らが体験した結果に基づく報告書であるか否かを大きな基準とする。

履修にあたっての注意・助言他

他者の人格に立ち入ることにもなるような課題であるため、興味本位にならない慎重な受講態度が必要である。

教科書

検査マニュアルを貸与し、その他資料は毎回プリントを配布する。

プリント資料及び参考文献

参考文献については、その都度紹介する。

授業計画

- 1 心理検査（知能検査・人格検査）についてのオリエンテーション
- 2 人格検査検査の作成過程を体験し、標準化の模擬体験を行う。
- 3 知能検査、人格検査（質問紙法・作業検査法・投影法）お自ら体験し、評価を実施する。
- 4 報告書の作成を行う。

予習・復習

予習・復習については、授業時の指示をする。

備考

心理学専攻の学生を中心に、30名程度とする。